

全巻共通・DVD等

頁	火山名	該当箇所	巻	誤	正
	巻頭部	解説(5-1章)	全	火山名の下に黒枠囲みで	火山名の <u>周り</u> に黒枠囲みで
	巻頭部	解説(引用文献)の、町田 洋・新井房夫(2003)	全	360p	<u>336p</u>
	巻頭部	災害年表(渡島大島の要因欄)	全	津波	<u>岩屑なだれ</u> ・津波
	巻頭部	災害年表(渡島大島の詳細欄)	全	8月29日:大津波が発生し、	8月29日: <u>岩屑なだれ</u> により大津波が発生し、
	巻頭部	災害年表(雲仙岳の1792年5月の要因欄)	全	地震	地震・ <u>岩屑なだれ</u>
	巻頭部	災害年表の引用文献	全	8) 北海道防災会(1975)	8) 北海道防災 <u>会議</u> (1975)
	巻頭部	災害年表の引用文献	全	13) 山形地方気象台・山形県農林部	13) 山形地方気象台・山形県農林 <u>水産部</u>
	巻頭部	災害年表の引用文献	全	43) 猪間収三郎(1902)鳥島破裂実検記, 地学雑誌, 14, 360-640.	43) 猪間収三郎(1902)鳥島破裂実検記, 地学雑誌, 14, <u>630-640.</u>
	DVD	火山の位置点名ファイル(日光海山の火山の位置)	-	緯度 23° 05' 東経 142° 18' 水深-612m	緯度 23° <u>04' 42"</u> 東経 142° <u>19' 32"</u> 水深- <u>392m</u>
	DVD	火山の位置点名ファイル(西表島北北東海底火山の位置)	-	北緯 24.8° 東経 124°	北緯 <u>24° 34'</u> 東経 <u>123° 56'</u> 水深- <u>200m</u>
	DVD	火山観測点ファイル(KML)	-	右記の通り	最終頁の <u>別表</u> を参照

第 I 卷

頁	火山名	該当箇所	巻	誤	正
90	雌阿寒岳	有史以降の火山活動の表の 2002 年	I	2002(平成 12)年	2002(平成 <u>14</u> )年
96	雌阿寒岳	図 7-10 のキャプション	I	噴火直前	噴火時
276	ニセコ	引用文献の最終行	I	地学雑誌	地質学雑誌
304	北海道駒ヶ岳	引用文献の中村左衛門太郎 (1935) の号番号	I	8	<u>13</u>
320	渡島大島	海底地形図のキャプション	I	出典元を右記の通り追記する。	(海上保安庁, 1978)
326	渡島大島	引用文献	I	右記の文献を追加する。	海上保安庁 (1978) 松前大島 日本・南方諸島 : 海底地質構造図. 沿岸の海の基本図(5 万分の 1), 6326 <sup>6-s</sup> , 海上保安庁.
329	恐山	噴火活動史の引用文献	I	1. 弘前大学理学部 (1986)	1. <u>東北</u> 大学理学部 (1986)
331	恐山	噴火年代—累積噴出量	I	(小林・水上, 2012)	(小林・水上, 2012 <u>を改変</u> )
334	恐山	引用文献、1 行目	I	40, <b>219</b> , 43-44.	40, <u>1</u> , 43-44.
334	恐山	引用文献、3 行目	I	10.	<u>16</u> .
334	恐山	引用文献、11 行目	I	<b>72</b> , 75-60.	<b>72</b> , <u>45</u> -60.
346	八甲田山	噴火活動史、2ka の行	I	大岳山頂	大岳山頂?
365	秋田焼山	過去 1 万年間の噴火活動の注記	I	西暦 2000 年を 0 ka として示したの	西暦 2000 年を 0 ka として示したの。
374	秋田焼山	引用文献、5 行目	I	<b>514</b> , 44-49	<b>515</b> , 44- <u>48</u>
380	岩手山	概要、11 行目	I	(昭和 9-10 年、昭和 40 年代)	(昭和 9-10 年、 <u>昭和 34 年、昭和 47 年</u> )
430	鳥海山	概要、8 行目	I	約 <u>2600</u> 年前、	約 <u>2500</u> 年前、
465	肘折	引用文献	I	右記の文献を追加	川口泰広・村上英樹 (1994) 山形県肘折地域に分布する火砕流堆積物とその生成機構. 秋田大学鉱山学部 研究報告, 15, 81-88.
466	蔵王山	写真のキャプション	I	蔵王山全景 村田町内から	蔵王山全景 <u>蔵王</u> 町内から
469	蔵王山	有史以降の火山活動の表	I	▲12~15 世紀のいずれか ka	▲12~15 世紀のいずれか <u>(ka を削除)</u>
478	蔵王山	引用文献、4 行目	I	149-195	149- <u>168</u>
485	吾妻山	有史以降の火山活動の表の 2008~10(平成 20~22)年	I	2008~10(平成 20~22)年	2008~ <u>11</u> (平成 20~ <u>23</u> )年

頁	火山名	該当箇所	巻	誤	正
495	吾妻山	図 34-15 のキャプション中	I	図 34-12	図 34- <u>14</u>
537	磐梯山	「③噴火警戒レベル」のタイトル	I	(2009 (平成 23) 年 3 月 31 日運用開始)	(2009 (平成 <u>21</u> ) 年 3 月 31 日運用開始)

第Ⅱ巻

頁	火山名	該当箇所	巻	誤	正
551	燧ヶ岳	噴火活動史（過去1万年間の噴火活動）の本文、上から5行目	Ⅱ	登録	<u>東麓</u>
614	高原山	噴火活動史（過去1万年間の噴火活動）の表	Ⅱ	溶岩ドーム(潜在ドーム)	溶岩ドーム <u>及び潜在溶岩ドーム</u>
645	草津白根山	写真のキャプション	Ⅱ	草津白根山全景 西側から 2011年8月10日 気象庁撮影	白根山火砕丘頂部西側から 2011年8月10日 気象庁撮影 <u>手前から涸釜、湯釜、水釜</u>
645	草津白根山	概要	Ⅱ	西端部の最高所付近に白根山・逢之峰・本白根山等の火砕丘群が	西端部の最高所付近に白根山・ <u>逢ノ峰</u> ・本白根山等の火砕丘群が
646	草津白根山	写真のキャプション	Ⅱ	草津白根山の噴火南西方向から 1982年12月29日 小坂丈予 撮影	湯釜の噴火 南西方向から 1982年12月29日 小坂丈予 撮影
657	草津白根山	図 44-11 の②日別地震回数表	Ⅱ	右記を参照	②日別地震回数表の差し替え
659	草津白根山	図 44-15 のキャプション	Ⅱ	全磁力変化から、八ヶ岳地球電磁気観測所の全磁力及び気象庁地磁気観測所の地磁気3成分を参照し広域的変動を除去した残差	<u>全磁力変化から八ヶ岳地球電磁気観測所の全磁力を除去した残差の日平均値</u>
678	浅間山	有史以降の火山活動の表の1534年	Ⅱ	1534(天文元)年	1534(天文 <u>3</u> )年
678	浅間山	有史以降の火山活動の表の1596年	Ⅱ	5日噴石のため死者多数、8月19日噴火。	<u>5月5日</u> 、噴石のため死者多数。
681	浅間山	有史以降の火山活動の表の1934～37(昭和9～12)年	Ⅱ	11月小規模噴火：	<u>1934年</u> 11月、小規模噴火。
682	浅間山	噴火活動史の引用文献(No. 121)	Ⅱ	2004	<u>2009</u>
727	横岳	過去1万年間の噴火活動	Ⅱ	八丁平溶岩が <u>流した</u> 可能性がある。	八丁平溶岩が <u>噴出した</u> 可能性がある。
733	新潟焼山	有史以降の火山活動の表の1949(昭和24)年	Ⅱ	2月5日2月5、8日、	<del>2月5日</del> 2月5、8日、

頁	火山名	該当箇所	巻	誤	正
744	新潟焼山	主な火山情報の発表状況	II	1989年の緊急火山情報は2回。	1989年の緊急火山情報は <u>0</u> 回。1989年の臨時火山情報は <u>2</u> 回。
746	新潟焼山	社会条件の、②国立・国定公園・登山者数等	II	糸井川地域	糸魚川地域
747	新潟焼山	観測網（広域）の図	II	右記を参照	<u>新焼大平観測点を削除</u>
749	妙高山	概要	II	第4期	<u>第四紀</u>
770	焼岳	噴火活動史（過去1万年間の噴火活動）の表	II	「1887(明治20)年頃から」の現象欄に右記を追記。	<u>噴気</u>
771	焼岳	噴火活動史（有史以降の火山活動）の1962～1963(昭和37～38)年	II	降灰、地震群発。 <u>1～3月。</u>	降灰、地震群発。 <u>1～3月。</u>
786	焼岳	図50-14 観測点位置図の凡例	II	中部地方整備局	<u>北陸地方整備局</u>
805	御嶽山	図53-4の説明	II	数字は厚さ cm3 単位	数字は厚さ： <u>cm</u> 単位
831	白山	図54-2（日別回数表）の説明	II	日別地震回数（2005年12月1日～2012年6月30日）.	日別地震回数（2005年12月1日～ <u>2011年9月10日</u> ）.
839	富士山	噴火活動史（有史以降の火山活動）の1707(宝永4)年	II	噴火後洪水等の土砂災害が継続。	噴火後洪水 <u>や</u> 土砂災害が継続。
839	富士山	噴火活動史（有史以降の火山活動）の1923(大正12)年	II	1957年の調査 <sup>16</sup> では、	1957年の調査 <sup>17</sup> では、
860	富士山	観測網（広域）の図	II	右記を参照	<u>M 富士御庭 A（国土地理院；全磁力観測点）の記号を追加</u>
861	富士山	観測網（山頂付近）の図	II	右記を参照	<u>M 富士御庭 A（国土地理院；全磁力観測点）の記号を追加</u>
888	伊豆東部火山群	噴火活動史（過去1万年間の噴火活動）の表	II	右記を参照	<u>4kaの行を削除</u>
888	伊豆東部火山群	噴火活動史（有史以降の火山活動）の表の1930(昭和5)年	II	最大約10km隆起	最大約 <u>10cm</u> 隆起
897	伊豆東部火山群	図57-13の説明		1日を最後に観測されなくなった。	<u>21</u> 日を最後に観測されなくなった。
898	伊豆東部火山群	図57-15の説明	II	赤色の長方形はより深部の	<u>青色</u> の長方形はより深部の
907	伊豆東部火山群	図57-21 観測点配置図	II	右記を参照	大原震度計位置修正
910	伊豆大島	下の写真のキャプション	II	三原山山頂割れ目噴火	三原山 <u>山腹</u> 割れ目噴火

頁	火山名	該当箇所	巻	誤	正
915	伊豆大島	過去1万年間の噴火活動の、5.6←3.4ka	II	ユオトシ北	<u>コオトシ (コウトシ)</u> 北
915	伊豆大島	過去1万年間の噴火活動の、5.6←3.4ka	II	泥立?	<u>沢立?</u>
921	伊豆大島	有史以降の火山活動表の1986年噴火の活動経過・被害状況等	II	B 火口列(山頂北東側)、C 火口列(北北東山腹)	B 火口列(山頂北 <u>西</u> 側)、C 火口列(北北 <u>西</u> 山腹)
947, 948	伊豆大島	観測網(広域、山頂付近)	II	右記を参照	<u>東京大学地震研究所の観測点で2つの●の一つは地震計)広帯域)</u>
983	三宅島	噴火活動史(有史以降の火山活動)の表の1940(昭和15)年	II	噴火場所は北西山腹噴火割れ目、	噴火場所は <u>北東</u> 山腹噴火割れ目、
983	三宅島	噴火活動史(有史以降の火山活動)の表の1962(昭和37)年	II	噴火場所は北西山腹噴火割れ目	噴火場所は <u>北東</u> 山腹噴火割れ目
1004	三宅島	引用文献	II	右記の文献を追加する。	<u>笹井洋一・他(2001)地電位観測から推定される三宅島火山の2000年活動. 地学雑誌, 110, 226-244.</u>
1031	青ヶ島	噴火活動史(有史以降の火山活動)の表の2012(平成24)年	II	現象欄に右記を追加する	<u>海水変色</u>
1031	青ヶ島	噴火活動史(有史以降の火山活動)の表の2012(平成24)年	II	右記を参照	<u>▲印を削除</u>
1037	ベヨネース列岩	噴火活動史(有史以降の火山活動)の表の1934(昭和9)年	II	海底噴火:(中略)噴火場所は明神礁。	<u>海底噴火を削除。海面変色域は明神礁。また、▲印を削除。</u>
1037	ベヨネース列岩	噴火活動史(有史以降の火山活動)の表の1945(昭和20)年	II	乳白色に海水変色。	<u>明神礁で乳白色に海水変色、硫黄臭。</u>
1037	ベヨネース列岩	噴火活動史(有史以降の火山活動)の表の1971(昭和46)年	II	噴火場所は明神礁。	<u>海面変色域は明神礁。また、▲印を削除。</u>
1037	ベヨネース列岩	噴火活動史(有史以降の火山活動)の表の1979(昭和54)年	II	噴火場所は明神礁。	<u>海面変色域は明神礁。また、▲印を削除。</u>
1037	ベヨネース列岩	噴火活動史(有史以降の火山活動)の表の1980(昭和55)年	II	噴火場所は明神礁。	<u>海面変色域は明神礁。また、▲印を削除。</u>
1037	ベヨネース列岩	噴火活動史(有史以降の火山活動)の表の1982(昭和57)年	II	噴火場所は明神礁。	<u>海面変色域は明神礁。また、▲印を削除。</u>

頁	火山名	該当箇所	巻	誤	正
1037	ベヨネース列岩	噴火活動史（有史以降の火山活動）の表の1983（昭和58）年	II	噴火場所は明神礁。	<u>海面変色域</u> は明神礁。また、 <u>▲印</u> を削除。
1037	ベヨネース列岩	噴火活動史（有史以降の火山活動）の表の1986（昭和61）年	II	噴火場所は明神礁。	<u>海面変色域</u> は明神礁。また、 <u>▲印</u> を削除。
1037	ベヨネース列岩	噴火活動史（有史以降の火山活動）の表の1987（昭和62）年	II	噴火場所は明神礁。	<u>海面変色域</u> は明神礁。また、 <u>▲印</u> を削除。
1037	ベヨネース列岩	噴火活動史（有史以降の火山活動）の表の1988（昭和63）年	II	噴火場所は明神礁。	<u>海面変色域</u> は明神礁。また、 <u>▲印</u> を削除。
1041	須美寿島	噴火活動史（有史以降の火山活動）の表の1974（昭和49）年以降すべて	II	<u>噴火</u> 場所	場所
1041	須美寿島	噴火活動史（有史以降の火山活動）の表の1916（大正5）年	II	▲1916(大正 <u>15</u> )年	▲1916(大正 <u>5</u> )年
1041	須美寿島	噴火活動史（有史以降の火山活動）の表の1916（大正5）年	II	噴火？	噴火
1045	伊豆鳥島	引用文献	II	2. 猪間収三郎（1902）鳥島破裂実検記．地学雑誌， <b>14</b> ，360-640.	2. 猪間収三郎（1902）鳥島破裂実検記．地学雑誌， <b>14</b> ， <u>630-640</u> .
1052	孀婦岩	噴火活動史（有史以降の火山活動）の表の1975(昭和50)年	II	<u>噴火</u> 場所	場所
1054	西之島	図70-2のキャプション	II	左： 1972年	左： <u>1982</u> 年
1056	西之島	噴火活動史（活動経過・被害状況等）の4行目	II	7月11日直径30～50mの新島発見。	<u>9月</u> 11日直径30～50mの新島発見。
1063	海徳海山	噴火活動史（有史以降の火山活動）の表の1984年12月23日	II	<u>噴火</u> 場所	場所
1063	海徳海山	噴火活動史（有史以降の火山活動）の表の2001年7月20日	II	<u>(海水変色)</u>	<u>(気泡湧出)</u>
1063	海徳海山	噴火活動史（有史以降の火山活動）の表の2001年7月20日	II	<u>噴火</u> 場所	場所
1072	硫黄島	噴火活動史（有史以降の火山活動）の表の1993（平成5）年	II	海水変色、熱	<u>海底噴火？</u>

頁	火山名	該当箇所	巻	誤	正
1074	硫黄島	図 74-4 のキャプション	II	(2011 年 12 月 1 日～ 2012 年 5 月 31 日) (防 災科学技術研究所, 2012)	( <u>2010</u> 年 <u>5</u> 月 1 日～ <u>2011</u> 年 5 月 <u>9</u> 日) (防 災科学技術研究所, <u>2011</u> )
1076	硫黄島	図 74-7 のキャプション	II	(2001 年 10 月 1 日～ 2011 年 9 月 25 日) (防 災科学技術研究所, 2010)	(2001 年 10 月 1 日～ <u>2012</u> 年 5 月 31 日) (防 災科学技術研究所, <u>2012</u> )
1081	硫黄島	引用文献	II	右記の文献を追加す る。	<u>防災科学技術研究所</u> <u>(2011) 第 120 回火山</u> <u>噴火予知連絡会資料</u> <u>(硫黄島資料).</u>
1083	北福德堆	噴火活動史 (有史以降 の火山活動) の表の 1988 (昭和 63) 年の現象 欄	II	噴煙	噴煙?
1097	日光海山	火山の位置 (※注)	II	緯度 23° 05' 東経 142° 18' 水深-612m	緯度 23° <u>04' 42"</u> 東経 142° <u>19' 32"</u> 水深- <u>392m</u>
1098	日光海山	引用文献	II	右記の文献を追加す る。	<u>Merle, S., Embley, R.,</u> <u>Baker, E., and Chadwick,</u> <u>B. (2003) Submarine Ring</u> <u>of Fire 2003, Mariana Arc.</u> <u>R/V Thomas G. Thompson</u> <u>Cruise TN153, February</u> <u>9-March 5, 2003, 32p.</u> <u>Online _____ at</u> <u><a href="http://oceanexplorer.noaa.gov/explorations/03fire/logs/summary/marianas_cruise_report.pdf">http://oceanexplorer.noaa.</a></u> <u><a href="http://oceanexplorer.noaa.gov/explorations/03fire/logs/summary/marianas_cruise_report.pdf">gov/explorations/03fire/log</a></u> <u><a href="http://oceanexplorer.noaa.gov/explorations/03fire/logs/summary/marianas_cruise_report.pdf">s/summary/marianas_cru</a></u> <u><a href="http://oceanexplorer.noaa.gov/explorations/03fire/logs/summary/marianas_cruise_report.pdf">sereport.pdf.</a> Accessed</u> <u>May 13, 2013.</u>

※注 日光海山の火山の位置については、後日、米国の海底地形に関する調査結果があることが判明したため、刊行後の変更となった。



第Ⅲ巻

頁	火山名	該当箇所	巻	誤	正
1139	三瓶山	関係する主な気象官署の、松江地方気象台の電話番号	Ⅲ	0852-21-37943	0852-21- <u>3794</u>
1146	阿武火山群	噴火活動史（過去1万年間の噴火活動）	Ⅲ	最新の噴火は萩市の笠山で起こった。約11000年前には玄武岩質安山岩の溶岩台地が形成され、約8800年前には宇生賀(うしようが)溶岩が流出、3000年前にはストロンボリ式噴火でスコリア丘が形成された。	<u>笠山では、約11000年前には玄武岩質安山岩の溶岩台地が形成され、最新の噴火(8800年前)にはストロンボリ式噴火によりスコリア丘が形成された。</u>
1146	阿武火山群	過去1万年間の噴火活動(11.4ka)	Ⅲ	火砕物降下。	<u>溶岩流。</u>
1146	阿武火山群	過去1万年間の噴火活動(8.8ka)	Ⅲ	溶岩流。	<u>スコリア丘形成。</u>
1151	鶴見岳・伽藍岳	概要(2行目)	Ⅲ	右記の部分を削除	<u>(SiO<sub>2</sub> 57~63%)</u>
1152	鶴見岳・伽藍岳	写真左上	Ⅲ	鶴見岳赤池谷地獄の噴気	鶴見岳 <u>地獄谷赤池</u> の噴気
1154	鶴見岳・伽藍岳	噴火活動史(過去1万年間の噴火活動)の1~2行目	Ⅲ	第四紀火山カタログ委員会, 1999	<u>小林, 1984</u>
1154	鶴見岳・伽藍岳	噴火活動史(過去1万年間の噴火活動)の5行目	Ⅲ	約9500年前より	約 <u>1万500年前</u> より
1163	由布岳	概要(4~5行目)	Ⅲ	火砕流堆積物がいくつも分布する(草薙・宇井, 1995)	<u>「いくつも」、及び「(草薙・宇井, 1995)」を削除。</u>
1164	由布岳	噴火活動史(過去1万年間の噴火活動)の文章	Ⅲ	右記の部分を削除	<u>アカホヤ火山灰の堆積(約7,300年前)以前に池代溶岩、由布岳山頂溶岩の流出、溶岩ドームの形成およびドームの崩壊による火砕流などが数回発生している。その後、</u>
1164	由布岳	噴火活動史(過去1万年間の噴火活動)の表、及び引用文献一覧	Ⅲ	右記の文献を削除	<u>4. 草薙恵・宇井忠英(1995)大分県中部・由布岳周辺の小規模火砕流堆積物。地球惑星科学関連学会合同大会予稿集, 78.</u>

頁	火山名	該当箇所	巻	誤	正
1166	由布岳	引用文献	Ⅲ	右記の文献を削除	草薙 恵・宇井忠英 (1995) 大分県中部・由布岳周辺の小規模火砕流堆積物. 地球惑星科学関連学会合同大会予稿集, 78.
1188	九重山	引用文献 1 行目の、江原幸雄・他(1981)	Ⅲ	放熱両	放熱 <u>量</u>
1188	九重山	引用文献の、「糸井龍一・他」の発表年	Ⅲ	2002	<u>2000</u>
1188	九重山	引用文献の、「Nakaboh, M., et al.」の発表年	Ⅲ	2002	<u>2003</u>
1188	九重山	引用文献	Ⅲ	右記の文献を削除する	<u>斉藤英二・他 (2003) 九重硫黄山, 1995 年噴火後の山体変動. 火山, 48, 275-282.</u>
1199	阿蘇山	噴火年代	Ⅲ	1969～73(昭和 43～48)年	1969～73(昭和 <u>44</u> ～48)年
1201	阿蘇山	噴火活動史(有史以降の火山活動)の表の噴火年代	Ⅲ	2011(平成 17)年	2011(平成 <u>23</u> )年
1272	霧島山	噴火活動史(有史以降の火山活動)の 1822(文政 4)年	Ⅲ	現在の国分市からの記録では、	現在の <u>霧島市国分</u> からの記録では、
1273	霧島山	噴火活動史(有史以降の火山活動)の 1894(明治 27)年	Ⅲ	字抜川	字 <u>祓</u> 川
1274	霧島山	噴火活動史(有史以降の火山活動)の 1914(大正 3)年	Ⅲ	東襲村	東襲 <u>山</u> 村
1276	霧島山	噴火活動史(有史以降の火山活動)の 2011(平成 23)年	Ⅲ	中規模: マグマ水蒸気噴火 <sup>1</sup>	中規模: <u>マグマ噴火</u> <sup>1</sup>
1276	霧島山	噴火活動史(有史以降の火山活動)の 2011(平成 23)年	Ⅲ	新燃岳で 1 月 19 日にごく小規模噴火したのち、	新燃岳で 1 月 19 日に <u>小規模</u> 噴火したのち、
1285	霧島山	図 87-13 の期間	Ⅲ	2010 年 11 月 1 日	<u>2011</u> 年 1 月 1 日
1290	霧島山	①火山防災協議会の、霧島山噴火災害対策連絡会議の設置年月	Ⅲ	1996	<u>1997.3</u>
1303	霧島山	過去の規制履歴の表	Ⅲ	2010(平成 22)年 3 月 22 日	<u>2011</u> (平成 <u>23</u> )年 3 月 22 日
1309	霧島山	引用文献	Ⅲ	1 行目と 4 行目は同一の論文	1 行目を削除

頁	火山名	該当箇所	巻	誤	正
1309	霧島山	引用文献の10行目	Ⅲ	第124回火山分噴火予知連絡会資料	第124回 <u>火山噴火予知</u> 連絡会資料
1326	桜島	有史以降の火山活動の表	Ⅲ	766(天宝神護2)年	766(天 <u>平</u> 神護2)年
1327	桜島	有史以降の火山活動の表の1913(大正2)年	Ⅲ	右記の通り	<u>▲印を削除</u>
1354	桜島	防災に関する情報「桜島爆発災害対策連絡会議」の設置年	Ⅲ	1996	<u>1997.3</u>
1385	薩摩硫黄島	噴火活動史(過去1万年間の噴火活動)の文章	Ⅲ	完新世では最大規模の噴火	完新世では <u>国内</u> 最大規模の噴火
1385	薩摩硫黄島	噴火活動史(過去1万年間の噴火活動)の表の1行目	Ⅲ	1.4→7.3ka	<u>14</u> →7.3ka
1385	薩摩硫黄島	噴火活動史(過去1万年間の噴火活動)の表の3行目	Ⅲ	7.3ka<	7.3ka <u>&gt;</u>
1385	薩摩硫黄島	噴火活動史(過去1万年間の噴火活動)の表の3行目	Ⅲ	(VEI6) <sup>22</sup>	(VEI6) <sup>16</sup>
1385	薩摩硫黄島	噴火活動史(過去1万年間の噴火活動)の表の3行目	Ⅲ	マグマ噴出量に右記の注釈を付ける。	<u>※海底地形判読による最大値</u>
1385	薩摩硫黄島	噴火活動史(過去1万年間の噴火活動)の表の2、3行目	Ⅲ	鬼界カルデラ全域	<u>鬼界カルデラ内海底</u>
1385	薩摩硫黄島	噴火活動史(過去1万年間の噴火活動)の表の3行目	Ⅲ	溶岩流, 溶岩ドーム。	<u>海底溶岩ドーム。</u>
1386	薩摩硫黄島	噴火活動史(有史以降の火山活動)表の上の文章	Ⅲ	前野・谷口, 2004	前野・谷口, <u>2005</u>
1392	薩摩硫黄島	①火山防災協議会の、薩摩硫黄島噴火災害対策連絡会議の設置年月	Ⅲ	1996	<u>1997.3</u>
1399	口永良部島	概要の3行目	Ⅲ	最近の10,000年間の噴火は古岳・新岳で発生している。	最近の10,000年間の噴火は古岳・新岳・ <u>鉢窪火山</u> で発生している。
1404	口永良部島	噴火活動史(有史以降の火山活動)の1980(昭和55)年	Ⅲ	マグマ噴出量は0.001 DRE km <sup>3</sup> 。(VEI1) <sup>2</sup>	<u>噴出量は0.001 km<sup>3</sup>。(VEI1)<sup>1</sup></u>

頁	火山名	該当箇所	巻	誤	正
1406	口永良部島	過去の噴火における先駆現象等	Ⅲ	昭和期の水蒸気噴火においては、噴火の直前に噴気量の減少や鳴動、弱い地震の発生がみられたことがある。	<u>近年の水蒸気噴火の数ヶ月前から噴煙の増加や鳴動があった。</u>
1417	口永良部島	⑥避難実績及び入山規制等の実績 過去の規制履歴の日付	Ⅲ	2008年3月18日 解除	2008年 <u>1月25日</u> 解除
1424	口之島	噴火活動史（過去1万年間の噴火活動）の5～6行	Ⅲ	右記の通り	<u>「前岳溶岩ドームの形成後に」</u> を削除
1445	諏訪之瀬島	①火山防災協議会の、諏訪之瀬島噴火災害対策連絡会の設置年月	Ⅲ	1996	<u>1997.3</u>
1460	西表島北北東海底火山	火山の位置	Ⅲ	北緯 24.8° 東経 124°	<u>北緯 24° 34'</u> <u>東経 123° 56'</u> <u>水深-200m</u>
1461	西表島北北東海底火山	引用文献	Ⅲ	関和 男	<u>関 和男</u>

活火山の標高更新および蔵王山の読み・表記の変更に伴う変更（2018年11月27日変更）

頁	火山名	該当箇所	巻	変更前	変更後
	巻頭部	活火山リスト	全	Zaozan	Zaozan ( <u>Zaosan</u> )
	DVD	火山の位置点名ファイル（羅臼岳の標高）	－	1,660m	<u>1,661m</u>
	DVD	火山の位置点名ファイル（栗駒山の標高）	－	1,627m	<u>1,626m</u>
	DVD	火山の位置点名ファイル（蔵王山の読み）	－	ざおうざん	ざおうざん ( <u>ざおうざん</u> )
	DVD	火山の位置点名ファイル（蔵王山の英名）	－	Zaozan	Zaozan ( <u>Zaosan</u> )
	DVD	火山の位置点名ファイル（安達太良山（鉄山）の標高）	－	1,710m	<u>1,709m</u>
	DVD	火山の位置点名ファイル（硫黄島の標高）	－	169m	<u>170m</u>
	DVD	火山の位置点名ファイル（霧島山（高千穂峰）の標高）	－	1,573m	<u>1,574m</u>
40	羅臼岳	火山の位置	I	標高 1,660m	標高 <u>1,661m</u>
446	栗駒山	火山の位置	I	標高 1,627m	標高 <u>1,626m</u>
466	蔵王山	火山名の読み	I	ざおうざん	ざおうざん ( <u>ざおうざん</u> )
466	蔵王山	火山の英名	I	Zaozan	Zaozan ( <u>Zaosan</u> )
505	安達太良山	火山の位置	I	標高 1,710m（鉄山）	標高 <u>1,709m</u> （鉄山）
1067	硫黄島	火山の位置	II	標高 169m	標高 <u>170m</u>
1067	硫黄島	概要（2行目）	II	火砕丘摺鉢山（標高 169m）	火砕丘摺鉢山（標高 <u>170m</u> ）
1266	霧島山	火山の位置	III	標高 1,573m（高千穂峰）	標高 <u>1,574m</u> （高千穂峰）

別表（火山観測点ファイル）

行	火山名	種類	観測点名	誤	正
13	摩周・アトサヌプリ	傾斜計	跡佐登	縦坑	<u>埋設</u>
14	摩周・アトサヌプリ	地震計	跡佐登	縦坑	<u>埋設</u>
41	雄阿寒岳・雌阿寒岳	傾斜計	飽別川上流	縦坑	<u>埋設</u>
42	雄阿寒岳・雌阿寒岳	地震計	飽別川上流	縦坑	<u>埋設</u>
85	十勝岳	傾斜計	翁温泉	縦坑	<u>埋設</u>
86	十勝岳	地震計	翁温泉	縦坑	<u>埋設</u>
98	十勝岳	傾斜計	望岳台	縦坑	<u>埋設</u>
99	十勝岳	地震計	望岳台	縦坑	<u>埋設</u>
146	樽前山	傾斜計	南西山麓	縦坑	<u>埋設</u>
147	樽前山	地震計	南西山麓	縦坑	<u>埋設</u>
192	恵庭岳	地震計	南西山麓	縦坑	<u>埋設</u>
203	倶多楽	傾斜計	上登別温泉	縦坑	<u>埋設</u>
204	倶多楽	地震計	上登別温泉	縦坑	<u>埋設</u>
224	有珠山	傾斜計	昭和新山南麓	縦坑	<u>埋設</u>
225	有珠山	地震計	昭和新山南麓	縦坑	<u>埋設</u>
295	北海道駒ヶ岳	傾斜計	梨の木沢	縦坑	<u>埋設</u>
296	北海道駒ヶ岳	地震計	梨の木沢	縦坑	<u>埋設</u>
323	恵山	傾斜計	柏野	縦坑	<u>埋設</u>
324	恵山	地震計	柏野	縦坑	<u>埋設</u>
651	那須岳	地震計	沼ツ原	地表	<u>埋設</u>
688	日光白根山	地震計	五色沼	地表	<u>埋設</u>
732	草津白根山	地震計	青葉山西	地表	<u>埋設</u>
909	新瀧焼山	地震計	新焼大平	右記の通り	<u>削除</u>
934	焼岳・アカンダナ山	地震計	三本滝	地表	<u>埋設</u>
936	焼岳・アカンダナ山	傾斜計	中尾	地上	<u>埋設</u>
937	焼岳・アカンダナ山	地震計	中尾	地表	<u>埋設</u>
959	乗鞍岳	地震計	三本滝	地表	<u>埋設</u>
960	乗鞍岳	傾斜計	三本滝	地上	<u>埋設</u>
980	御嶽山	地震計	田の原	地表	<u>埋設</u>
1030	富士山	地震計	太郎坊	地表	<u>埋設</u>
1130	箱根山	地震計	二ノ平	地表	<u>埋設</u>
1131	箱根山	傾斜計	二ノ平	地上	<u>埋設</u>
1161	伊豆東部火山群	地震計	大崎	地表	<u>埋設</u>
1166	伊豆東部火山群	地震計	猪山	地表	<u>埋設</u>
1369	新島	地震計	瀬戸山南	地表	<u>埋設</u>
1370	新島	傾斜計	瀬戸山南	地上	<u>埋設</u>
1387	神津島	地震計	天上山西	地表	<u>埋設</u>
1388	神津島	傾斜計	天上山西	地上	<u>埋設</u>
1420	三宅島	地震計	雄山南西	地表	<u>埋設</u>
1421	三宅島	傾斜計	雄山南西	地上	<u>埋設</u>
1481	八丈島	地震計	西山南東山麓	地表	<u>埋設</u>
1482	八丈島	傾斜計	西山南東山麓	地上	<u>埋設</u>

行	火山名	種類	観測点名	誤	正
1499	青ヶ島	地震計	松山ヶ平	地表	<u>埋設</u>
1500	青ヶ島	傾斜計	松山ヶ平	地上	<u>埋設</u>
1574	九重山	傾斜計	星生山北山腹	地上	<u>埋設</u>
1640	阿蘇山	傾斜計	古坊中	地上	<u>埋設</u>
1673	雲仙岳	傾斜計	国見岳北山腹	地上	<u>埋設</u>
1679	雲仙岳	傾斜計	鳥甲山北山腹	地上	<u>埋設</u>
1730	霧島山	傾斜計	高千穂河原	地上	<u>埋設</u>
1731	霧島山	地震計	高千穂河原	地表	<u>埋設</u>
1871	桜島	傾斜計	あみだ川	地上	<u>埋設</u>
1875	桜島	傾斜計	横山	地上	<u>埋設</u>
1881	桜島	傾斜計	瀬戸	地上	<u>埋設</u>
1949	口永良部島	傾斜計	新岳北東山麓	地上	<u>埋設</u>
1992	諏訪之瀬島	傾斜計	ナベタオ	地上	<u>埋設</u>
16	摩周・アトサヌプリ	G P S	美留和西	空白	<u>地上</u>
32	雄阿寒岳・雌阿寒岳	G P S	オンネト一野営場	空白	<u>地上</u>
34	雄阿寒岳・雌阿寒岳	G P S	剣ヶ峰南西	空白	<u>地上</u>
36	雄阿寒岳・雌阿寒岳	G P S	雌阿寒温泉南	空白	<u>地上</u>
44	雄阿寒岳・雌阿寒岳	G P S	飽別川上流	空白	<u>地上</u>
88	十勝岳	G P S	翁温泉	空白	<u>地上</u>
90	十勝岳	G P S	上ホロ避難小屋	空白	<u>地上</u>
93	十勝岳	G P S	湯の滝	空白	<u>地上</u>
101	十勝岳	G P S	望岳台	空白	<u>地上</u>
143	樽前山	G P S	樽前ガロー	空白	<u>地上</u>
144	樽前山	G P S	唐沢	空白	<u>地上</u>
145	樽前山	G P S	苫小牧丸山	空白	<u>地上</u>
149	樽前山	G P S	南西山麓	空白	<u>地上</u>
153	樽前山	G P S	北山腹	空白	<u>地上</u>
193	樽前山	G P S	南西山麓	空白	<u>地上</u>
207	恵庭岳	G P S	日和山東	空白	<u>地上</u>
222	有珠山	G P S	虻田泉北	空白	<u>地上</u>
227	有珠山	G P S	昭和新山北東	空白	<u>地上</u>
234	有珠山	G P S	南西外輪	空白	<u>地上</u>
279	北海道駒ヶ岳	G P S	押出沢	空白	<u>地上</u>
290	北海道駒ヶ岳	G P S	東円山	空白	<u>地上</u>
291	北海道駒ヶ岳	G P S	東山腹	空白	<u>地上</u>
292	北海道駒ヶ岳	G P S	南山腹	空白	<u>地上</u>
294	北海道駒ヶ岳	G P S	姫川	空白	<u>地上</u>
325	恵山	G P S	柏野	空白	<u>地上</u>
349	岩木山	G P S	松代町白沢	空白	<u>地上</u>
387	秋田焼山	G P S	玉川	空白	<u>地上</u>
401	岩手山	G P S	滝沢柳沢	空白	<u>地上</u>
452	秋田駒ヶ岳	G P S	田沢湖高原温泉	空白	<u>地上</u>
482	鳥海山	G P S	観音森	空白	<u>地上</u>

行	火山名	種類	観測点名	誤	正
548	吾妻山	GPS	つばくろ谷	空白	<u>地上</u>
550	吾妻山	GPS	一切経山南山腹	空白	<u>地上</u>
554	吾妻山	GPS	高山山頂	空白	<u>地上</u>
556	吾妻山	GPS	高湯温泉	空白	<u>地上</u>
561	吾妻山	GPS	板谷	空白	<u>地上</u>
562	吾妻山	GPS	幕川温泉	空白	<u>地上</u>
581	安達太良山	GPS	岳	空白	<u>地上</u>
589	安達太良山	GPS	母成	空白	<u>地上</u>
590	安達太良山	GPS	幕川温泉	空白	<u>地上</u>
608	磐梯山	GPS	西磐梯	空白	<u>地上</u>
612	磐梯山	GPS	野老沢	空白	<u>地上</u>
616	磐梯山	GPS	裏磐梯高原	空白	<u>地上</u>
649	那須岳	GPS	室野井	空白	<u>地上</u>
653	那須岳	GPS	沼ツ原	空白	<u>地上</u>
654	那須岳	GPS	湯本	空白	<u>地上</u>
656	那須岳	GPS	峠茶屋	空白	<u>地上</u>
724	草津白根山	GPS	逢ノ峰南東	空白	<u>地上</u>
734	草津白根山	GPS	青葉山西	空白	<u>地上</u>
735	草津白根山	GPS	仙乃入	空白	<u>地上</u>
736	草津白根山	GPS	草津	空白	<u>地上</u>
792	浅間山	GPS	鬼押	空白	<u>地上</u>
797	浅間山	GPS	高峰	空白	<u>地上</u>
806	浅間山	GPS	前掛西	空白	<u>地上</u>
807	浅間山	GPS	大窪沢	空白	<u>地上</u>
810	浅間山	GPS	追分	空白	<u>地上</u>
816	浅間山	GPS	六里上	空白	<u>地上</u>
848	浅間山	全磁力計	釜山南	地表	<u>地上</u>
853	浅間山	全磁力計	黒豆河原	地表	<u>地上</u>
905	新潟焼山	GPS	宇棚	空白	<u>地上</u>
906	新潟焼山	GPS	丸山尻	空白	<u>地上</u>
931	焼岳	遠望カメラ	焼岳	中部地方整備局	<u>北陸地方整備局</u>
933	焼岳・アカダナ山	GPS	三本滝	空白	<u>地上</u>
935	焼岳・アカダナ山	GPS	大正池南	空白	<u>地上</u>
939	焼岳・アカダナ山	GPS	栃尾	空白	<u>地上</u>
962	乗鞍岳	GPS	三本滝	空白	<u>地上</u>
964	乗鞍岳	GPS	大正池南	空白	<u>地上</u>
965	乗鞍岳	GPS	栃尾	空白	<u>地上</u>
977	御嶽山	GPS	開田高原西野	空白	<u>地上</u>
983	御嶽山	GPS	田の原	空白	<u>地上</u>
986	御嶽山	GPS	落合唐谷	空白	<u>地上</u>
1033	富士山	GPS	太郎坊	空白	<u>地上</u>
1128	箱根山	GPS	仙石原	空白	<u>地上</u>



行	火山名	種類	観測点名	誤	正
1156	伊豆東部火山群	G P S	桜木	空白	<u>地上</u>
1158	伊豆東部火山群	G P S	新井	空白	<u>地上</u>
1159	伊豆東部火山群	G P S	川奈	空白	<u>地上</u>
1164	伊豆東部火山群	G P S	大崎	空白	<u>地上</u>
1207	伊豆大島	G P S	大島 (6001)	地表	<u>地上</u>
1211	伊豆大島	G P S	B 火山口東	空白	<u>地上</u>
1222	伊豆大島	G P S	カルデラ北部	空白	<u>地上</u>
1224	伊豆大島	G P S	千波	空白	<u>地上</u>
1225	伊豆大島	G P S	元町	空白	<u>地上</u>
1226	伊豆大島	G P S	岡田検潮所	空白	<u>地上</u>
1227	伊豆大島	G P S	鎧端	空白	<u>地上</u>
1230	伊豆大島	G P S	櫛形山北	空白	<u>地上</u>
1232	伊豆大島	G P S	剣ヶ峰	空白	<u>地上</u>
1233	伊豆大島	G P S	差木地奥山	空白	<u>地上</u>
1235	伊豆大島	G P S	三原火孔西	空白	<u>地上</u>
1236	伊豆大島	G P S	三原火孔南	空白	<u>地上</u>
1240	伊豆大島	G P S	三原新山	空白	<u>地上</u>
1248	伊豆大島	G P S	津倍付	空白	<u>地上</u>
1250	伊豆大島	G P S	二子山	空白	<u>地上</u>
1255	伊豆大島	G P S	日の出	空白	<u>地上</u>
1257	伊豆大島	G P S	白石山	空白	<u>地上</u>
1261	伊豆大島	G P S	北の山	空白	<u>地上</u>
1262	伊豆大島	G P S	北西外輪	空白	<u>地上</u>
1266	伊豆大島	G P S	裏砂漠北東	空白	<u>地上</u>
1368	新島	G P S	若郷	空白	<u>地上</u>
1382	神津島	G P S	神津島 (9007)	地表	<u>地上</u>
1386	神津島	G P S	走る間	空白	<u>地上</u>
1400	神津島	G P S	三宅島 (9005)	地表	<u>地上</u>
1403	三宅島	G P S	沖ヶ平	空白	<u>地上</u>
1411	三宅島	G P S	新濤池跡	空白	<u>地上</u>
1415	三宅島	G P S	神着	空白	<u>地上</u>
1416	三宅島	G P S	村宮牧場南	空白	<u>地上</u>
1423	三宅島	G P S	雄山北東	空白	<u>地上</u>
1475	八丈島	全磁力計	八丈水路観測所	地表	<u>地上</u>
1477	八丈島	G P S	八丈島験潮所 (2013)	地表	<u>地上</u>
1478	八丈島	全磁力計	八丈富士南測点	地表	<u>地上</u>
1479	八丈島	全磁力計	八丈富士北測点	地表	<u>地上</u>
1480	八丈島	G P S	西山南中腹	空白	<u>地上</u>
1497	青ヶ島	G P S	柑上	空白	<u>地上</u>
1548	鶴見岳・伽藍岳	G P S	湯山	地表	<u>地上</u>
1571	九重山	G P S	上野	地表	<u>地上</u>
1575	九重山	G P S	星生山北山腹	地表	<u>地上</u>
1578	九重山	G P S	坊ガツル	地表	<u>地上</u>
1579	九重山	G P S	牧ノ戸峠	地表	<u>地上</u>

行	火山名	種類	観測点名	誤	正
1642	阿蘇山	G P S	古坊中	地表	<u>地上</u>
1643	阿蘇山	G P S	砂千里浜	地表	<u>地上</u>
1645	阿蘇山	G P S	仙酔峡	地表	<u>地上</u>
1648	阿蘇山	G P S	草千里	地表	<u>地上</u>
1675	雲仙岳	G P S	新湯	地表	<u>地上</u>
1677	雲仙岳	G P S	垂木台地	地表	<u>地上</u>
1680	雲仙岳	G P S	田代原	地表	<u>地上</u>
1713	霧島山	G P S	夷守林道	地表	<u>地上</u>
1720	霧島山	G P S	御池	地表	<u>地上</u>
1723	霧島山	G P S	皇子原	地表	<u>地上</u>
1726	霧島山	G P S	荒襲	地表	<u>地上</u>
1733	霧島山	G P S	高千穂河原	地表	<u>地上</u>
1734	霧島山	G P S	高千穂峰	地表	<u>地上</u>
1736	霧島山	G P S	新床	地表	<u>地上</u>
1739	霧島山	G P S	新燃岳北東	地表	<u>地上</u>
1740	霧島山	G P S	大幡山南	地表	<u>地上</u>
1742	霧島山	G P S	中岳東	地表	<u>地上</u>
1750	霧島山	G P S	野々湯	地表	<u>地上</u>
1873	桜島	G P S	あみだ川	地表	<u>地上</u>
1879	桜島	G P S	瀬ノ神	地表	<u>地上</u>
1883	桜島	G P S	瀬戸	地表	<u>地上</u>
1889	桜島	G P S	八谷沢	地表	<u>地上</u>
1917	薩摩硫黄島	G P S	物草	地表	<u>地上</u>
1939	口永良部島	G P S	ヘリポート	地表	<u>地上</u>
1943	口永良部島	G P S	七釜	地表	<u>地上</u>
1946	口永良部島	G P S	新岳南西山腹	地表	<u>地上</u>
1951	口永良部島	G P S	湯向	地表	<u>地上</u>
1989	諏訪之瀬島	G P S	トンガマ	地表	<u>地上</u>